

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 2年 脇田 紗和 (わきた さわ)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私は今年の夏休みの内2週間を、短期留学生としてオーストラリアで過ごしました。私たちが訪れたのは、オーストラリアの南部にあるアデレードという都市です。私は今まで海外経験がなく、外国の文化や暮らしにも馴染みがありませんでした。しかしそういったものに興味があったというのも、今回のプログラムに参加することを決めた理由のひとつです。

アデレードに着く前に私が気になっていたことの一つに、オーストラリアでの人種に関する考え方がありました。私の住む広島市では、観光スポットに行けば海外から来た観光客に出会うことはできても、普段の生活の中で触れ合うのは日本人がほとんどです。人種が違う人と交流する機会がないので、差別というもの自体を意識することが皆多くないのではと思います。しかし人種差別についてのニュースを見かけることはあり、そのたびに違和感を覚えていたので、オーストラリアではどうなのか疑問だったのです。実際に行ってみると、アデレードに人種差別はなく、ホストファミリーに連れて行ってもらった街を歩くと、色々な人種の人がありました。元は白人が多かったオーストラリアは、現在移民やその子どもや孫に対しても開かれた国なのだと実感しました。文化も多様であり、普段触れることのない思想にも触れることができました。偏見や差別がないという点で、オーストラリアはとても先進的でした。日本料理店や日本車のメーカーも多く、日本の食や技術はオーストラリアでも認められているのだととても誇らしい気持ちでした。日本とは違う慣習を経験したことで、さらに外国の文化、思想に興味が増えました。オーストラリア以外の国にも行きたいと考えていて、次に英語圏の国に行くときはもっと気持ちを伝え合えるようになりたいと、英語の学習に対する意欲も向上しました。

また、この研修を通して、チャレンジ精神が身についたと感じています。言語の違う国で自分の意思を伝えたいと思えば、間違うのが恥ずかしいからといって黙ってはいられません。相手の言うことを理解するために、分からなかったら聞き返さなければいけないし、より仲良くなりたければ自分から挨拶したり話しかけたりすることも大切です。とっさに正しい文法で話すのは難しいですが、間違っても伝えようとするのが大切だと思いました。今回身に着けた積極性を、これから活かしていきたいです。

私は勇気を出してこのプログラムに申し込んだ結果、このように素晴らしい体験をし、今まで知り得なかったことを知り、自分から何かに挑戦することに大きな意味があると実感することができました。この研修に参加して、異文化に触れ、英語での会話に挑戦し、多くの貴重な体験をしました。今回得たものを活かす努力をし、更なる成長をしたいです。